【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2009-264072(P2009-264072A)
【公開日】平成21年11月12日(2009.11.12)
【年通号数】公開・登録公報2009-045
【出願番号】特願2008-118101(P2008-118101)
【国際特許分類】
Ｅ０４Ｇ　7/32　(2006.01)
Ｅ０４Ｇ　7/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０４Ｇ　7/32　Ａ
Ｅ０４Ｇ　7/22　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成23年2月16日(2011.2.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被取付け物体を棒材に取付けるために使用される取付け具であって、
前記棒材に対して径方向から外嵌可能な嵌合孔部をもった取付け具本体と、
前記嵌合孔部に嵌入された棒材と交差する方向に沿って前記取付け具本体に設けられた楔部材打ち込み用開通部と、
前記楔部材打ち込み開通部に打ち込まれて、前記嵌合孔部に嵌合状態の棒材を前記嵌合方向から押圧して該嵌合孔部の奥端面に圧接して抜け止めする楔部材と、
を備え、
前記楔部材における圧接用斜面は、外径が異なる棒材に対応して長さ方向の先端側から基端側までの間で段差を境にした複数の段階に分けられていることを特徴とする取付け具。
【請求項２】
前記楔部材打ち込み用開通部に打ち込まれた楔部材の脱落阻止手段を備えている請求項１に記載の取付け具。
【請求項３】
前記取付け具本体は、棒材の長さ方向で所定間隔を存して対向配設されるとともに、各基端部同士が一体に連成された前後一対の二股片部を有し、これら前後の二股片部の内側空間が前記嵌合孔部として構成されており、
前後の二股片部の一片の各先端部同士が第１スペーサ部材で連結される一方、前後の二股片部の他片の各先端部同士が第２スペーサ部材で連結され、さらに、前後の二股片部における一片および他片の少なくとも一方の片の基端部同士が第３のスペーサ部材で連結され、前記嵌合方向における第１および第２スペーサ部材の位置から第３スペーサ部材までの空間が前記楔部材打ち込み用開通部として構成されており、
前記楔部材は、板状基部の幅方向両端にそれぞれ前後一対の対向壁部を一体形成して横断面形状が略Ｕ字形に形成されており、これら両対向壁部の各先端面が圧接用斜面として設定されるとともに、これら圧接用斜面は、外径が異なる棒材に対応して長さ方向の略中央部に形成された段差よりも先端側が外形の大きい棒材用の斜面として、段差よりも基端

側が外形の小さい棒材用の斜面として２段階に分けられている請求項１または２に記載の取付け具。
【請求項４】
前記楔部材には、長さ方向の先端部から基端部まで延びる長孔が形成されており、
前記楔部材の脱落阻止手段は、前記長孔と、この長孔に挿通されて前記取付け具本体に固着される金具とから構成されている請求項２に記載の取付け具。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
（１）　被取付け物体を棒材に取付けるために使用される取付け具であって、
前記棒材に対して径方向から外嵌可能な嵌合孔部をもった取付け具本体と、
前記嵌合孔部に嵌入された棒材と交差する方向に沿って前記取付け具本体に設けられた楔部材打ち込み用開通部と、
前記楔部材打ち込み開通部に打ち込まれて、前記嵌合孔部に嵌合状態の棒材を前記嵌合方向から押圧して該嵌合孔部の奥端面に圧接して抜け止めする楔部材と、
を備え、
前記楔部材における圧接用斜面は、外径が異なる棒材に対応して長さ方向の先端側から基端側までの間で段差を境にした複数の段階に分けられていることを特徴とする取付け具。